

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4071602470		
法人名	有限会社 Kふあみりい		
事業所名	グループホーム みどりのうた		
所在地 (電話番号)	福岡県久留米市東櫛原町1647番6 (電話) 0942 - 36 - 8400		
評価機関名	株式会社 アーバン・マトリックス 評価事業部		
所在地	福岡県北九州市小倉北区紺屋町4 - 6 北九州ビル8階		
訪問調査日	平成21年8月22日	評価確定日	平成21年11月19日

【情報提供票より】(平成21年7月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 13.8 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,200 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (7月29日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	1 名	要介護2	8 名
要介護3	4 名	要介護4	5 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 67 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	斎藤医院・なご整形外科・中川外科・中田循環器内科・さくら歯科
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

久留米市の中心市街地にある「グループホームみどりのうた」は、隣接して広大な中央公園があり、街中の利便性を有しながらも、緑多き周辺環境の中に立地している。個人行事の充実と社会参加の機会を大切に支援しており、家族や友人との関係や馴染みの場所、冠婚葬祭への出席など、少し前には普通に行なわれていた事を維持できるよう支援し、また途切れた関係を結びなおすよう取り組んでいる。グループホームの運営経験を併設する小規模多機能型ホームに活かし、また小規模多機能型ホームからの学びをグループホームにフィードバックするなど、管理者・職員は地域密着型サービスの意義の実践に日々取り組んでいる。行政との連携により、地域の中での困難事例にも、迅速に柔軟に対応するなど福祉拠点としての役割も担っており、今後の更なる展開が楽しみなグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価では、介護計画の見直しについて改善課題として指摘があったが、状況の変化に応じて1週間ごとに見直しを行う等、取り組みが行なわれている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題については、責任者を配置し改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>小規模多機能型ホームとの合同にて、2ヶ月に1回定期開催されている。状況報告や事例検討が行なわれ、また地域に向けての情報発信の機会ともなっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</p> <p>苦情相談窓口を設置し、外部機関の苦情相談窓口についても案内している。家族からの意見や苦情を歓迎し、大切にしている。家族の本意が聴けるよう、積極的な関係づくりが行なわれている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域での困難事例に行政からの相談を受け、柔軟に対応するなど、地域における福祉拠点としての役割りを担っている。開設時より自治会に加入しており、美化活動や廃品回収等の地域活動に参加し、また祭りへの参加や子どもみこしの休憩場所としてホームを開放するなど、地域住民としての役割りを担いながら交流が育まれており、地域に開かれたホームとしての取り組みがある。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念	「地域に根ざし、福祉の心に満ちた自由で健康な人としての喜び、そしてやすらぎをご提供致します。」という独自の理念が創られており、理念を礎として日々のケアに取り組んでいる。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	理念の共有と日々の取り組み	毎日の朝礼時にはスタッフ全員で理念を唱和し、ケアカンファレンス等でも理念についてふれ、その実践に向けて取り組んでいる。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい	地域での困難事例に行政からの相談を受け、柔軟に対応するなど、地域における福祉拠点としての役割りを担っている。開設時より自治会に加入しており、美化活動や廃品回収等の地域活動に参加し、また祭りへの参加や子どもみこしの休憩場所としてホームを開放するなど、地域住民としての役割りを担いながら交流が育まれており、地域に開かれたホームとしての取り組みがある。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用	評価での指摘事項については、内容を検討するための会議を実施し、担当者を決めて改善に向けて取り組んでいる。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	運営推進会議を活かした取り組み	小規模多機能型ホームとの合同にて、2ヶ月に1回定期開催されている。状況報告や事例検討が行なわれ、また地域に向けての情報発信の機会ともなっている。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携	市町村や地域包括支援センターとの、活発な意見交換が行われており、協働関係が築かれている。また久留米社会福祉事業者協議会等においても、市町村担当者との率直な意見交換が行われている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用	代表者は権利擁護に関する制度についての研修に参加し、また内部研修においても、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を確保し、周知に努めている。現在制度を活用している入居者がおり、関係者との連携により支援している。		
		管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。			
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告	医療機関受診の際には必ず受診結果を報告し、また薬の処方が変わる場合についても連絡している。家族との信頼関係を大切にしており、本人が亡くなられた後も、家族の来訪(行事・イベント参加等)や連絡を受けるなどの関係が続いている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
9	15	運営に関する家族等意見の反映	苦情相談窓口を設置し、外部機関の苦情相談窓口についても案内している。家族からの意見や苦情を歓迎し、大切にしている。家族の本意が聴けるよう、積極的な関係づくりが行なわれている。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
10	18	職員の異動等による影響への配慮	異動についてはほとんど行なわれていない。一人ひとりの入居者の方々と、より深くかかわっていくことを重視し、ユニットケアを徹底している。やむを得ず離職等が発生した場合には、混乱が最小限となるよう配慮している。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重	職員の募集・採用にあたっては、年齢や性別による排除は行なっていない。資格等ではなく、「人」としての資質を大切に採用を行なっている。		
		法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	人権に関しては、特に新規採用時の指導を徹底している。また社会福祉協議会での研修参加や内部研修を実施し、日々の支援の中でも、本人の意思を尊重した支援に努めている。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	社会福祉協議会の主催する、各種研修への参加を行っている。内部研修については、担当職員の計画立案により段階的な研修実施に努めている。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	同業者間で始まった交流会が、行政の参加・協力を得るまでとなり、ネットワークが大きく広がっている。センター方式やリスクマネジメント等についての勉強会が開かれている。職員の参加も積極的に行なわれており、交流の場となっている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	併設する小規模多機能型ホームを活用して、徐々に馴染みながら入居となる場合もある。見学や体験入居にも対応しており、安心して入居できるよう柔軟に対応している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	入居者の方々から生活の知恵を教えてもらったり、職歴から共感を得てアドバイスをもらうことや、励ましてもらうこともある。日々の暮らしの中で、共に過ごし支えあえるような時間を大切に、またその場面づくりに努めている。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	思いや意向の把握	思いや意向の把握について、ただ記録することで終わりせず、その実現に向けての支援を重要視している。センター方式を活用しながら家族にも記入してもらい、本人の全体像の把握に努めている。認知症に関する詳細なアセスメントが実施されており、また本人の言葉を大切に記録している。		
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	チームでつくる利用者本位の介護計画	それぞれの担当者が提案する介護計画を、ケアカンファレンスにおいて関係者間の話し合いを行い、計画内容の根拠となるものを確認しながら作成されている。		
		本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している			
19	39	現状に即した介護計画の見直し	期間に応じた見直しとともに、状況の変化に応じては1週間ごとに見直しを行う等、現状に即した計画となるよう努めている。		
		介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	事業所の多機能性を活かした支援	併設する小規模多機能型ホームを活用して、馴染みの関係づくりや日常的な連携が行なわれている。また家族等の馴染みの関係者の宿泊や食事にも柔軟に対応している。冠婚葬祭等への参加には、職員の支援とともに車両についてもサポートしている。		
		本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	かかりつけ医の受診支援	本人・家族の意向を大切にしかかりつけ医の受診を支援している。受診時にはチェックシートを用い、課題や要件などを記録し家族に報告している。処方が変わる場合についても、必ず本人または家族の了解を得ている。訪問看護ステーションとの契約書を作成し、記録が整備されている。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	ホームとして、家族や主治医、関係者との連携により、どう生きるかということを最期まで支援している。「重度化した場合における対応に係る指針」を示し、家族の同意を得ている。「私の四つのお願い」にて本人の意向を確認し、その思いを大切にしている。これまでに看取りを行なった経験があり、本人が亡くなられた後も、家族の訪問や連絡する関係が続いている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	入居者一人ひとりの尊厳を守ることは、基本であり当然のことであると考えており、特に新規採用時には周知徹底している。心が伴った言葉かけとなるよう、日々対応の徹底を図っている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	ある程度の一日の流れはあるが、自己選択・自己決定を尊重した支援に努めている。例えば「商店街をぶらっとしたい」という言葉があれば対応に努めるなど、その日その時の入居者の意向を大切に支援している。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	入居者と職員が同じ食卓を囲み、介助や見守りながら食事をしている。個々の希望や能力により、準備や後片付けに参加がある。個々の希望による外食の支援にも柔軟に対応している。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	基本的には、夏季は週3回、冬季は週2回の入浴日としているが、個々の希望や状況により柔軟に対応している。		
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	一人ひとりの希望や能力に応じて、力を発揮できる場面づくりに配慮している。個人行事の充実を重要視しており、馴染みの関係者や場所を大切に支援に取り組んでいる。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	隣接して広大な中央公園があり、また閑静な住宅街の中にあるため、日常的に散歩に出かけている。家族の来訪時に散歩に出かけ、水入らずの時間を過ごすこともある。今後は入居者の希望により「屋台」での外食を予定している。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	管理者・職員は、施錠することの弊害を理解しており、日中鍵をかけないケアを実践している。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	年2回の消防訓練を実施している。災害マニュアルを整備し、地域住民への協力を呼びかけている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	栄養士や調理師の配置により、栄養バランス等に配慮された食事の提供に努めている。食事・水分摂取量を記録し、健康管理に繋げている。個々の状態により、形状や治療食等に柔軟に対応している。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

グループホーム みどりのうた

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	家庭的な雰囲気のある共用空間からは、周辺の緑の木々を眺めることができ、室内には季節の花が飾られている。リビングの一角には和室スペースが設けられており、くつろげる空間が確保されている。併設する小規模多機能ホームまで、ウッドデッキが繋がっており、入居者の散歩道ともなっている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	各居室には馴染みの物が持ち込まれており、さりげない飾り付けがなされ、居心地のよさに配慮している。和・洋それぞれのタイプの部屋が用意されている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			